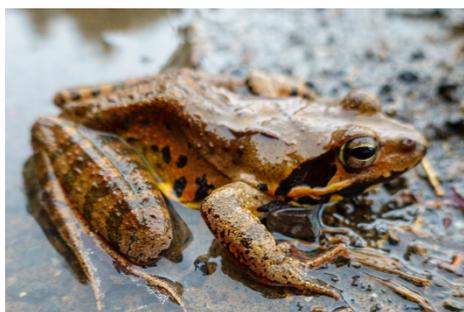


春に活動するカエルたち

カエルというと、田んぼに水が引かれる初夏に、にぎやかに鳴くことから、初夏に活動を始める動物と考えがちですが、早春から春にかけて活動をはじめめる種類もいます。これらのカエルの中から、今春、フィールドで遭遇したカエルたちを紹介します。

ヤマアカガエル



ヤマアカガエルは、山地にすむアカガエルの一種です。体長は4～7cm程度あります。写真は、まだ寒さが残る1月末に、出水市の山間部の水田で見つけた個体です。発見場所の周囲には多くのヤマアカガエルの卵塊らんかいがありましたが、ヘビなどの天敵のいない冬から早春にかけて産卵することが特徴です。また、このカエルは、産卵後、再び冬眠に入る「二度寝」をする変わった習性があります。

タゴカエル



タゴカエルは、水のしみ出す岩の下などにすむアカガエルの一種で、体長が3～6cmのやや小さなカエルです。写真は、3月末に伊佐市の山中で見つけた個体で、発見場所近くの岩の下からは「グウッ、グウッ」という特徴的な鳴き声を聞こえました。産

卵は岩の下で行われますが、その卵は栄養豊富で、幼生は餌を食べずに成長することができます。

アマミハナサキガエル



アマミハナサキガエルは奄美大島、徳之島のみが存在する大型のカエルで、山地に生息します。写真は、3月末、奄美大島南部の山間部の道路に現れた個体で、鼻先が尖り、スリムな体型をしていることがわかります。背の模様は緑と茶から成り立ちますが、写真のように茶が多い個体と緑が多い個体が存在します。

アマミイシカワガエル



アマミイシカワガエルは奄美大島固有の大型カエルで、山地の溪流に生息します。写真は、3月末に奄美大島南部の林道において観察した個体です。緑地に金色の斑点が非常に美しく「日本一美しいカエル」と呼ばれることもあります。

鹿児島のカエルたちは、初夏にかけて、活動シーズンの本番を迎えます。個性的な姿や鳴き声、特徴に目を向け、観察してみたいはいかがでしょうか。